



島立公民館連続講座開催

令和3年1月1日現在
世帯数 2,867 世帯
男 3,307 人
女 3,450 人
総人口 6,757 人

「あなたの知らない 松本城と世界遺産」と題した連続講座が11月16日から開催されました。第1回目は、松本市文化振興課の桑島課長補佐を講師に、「世界遺産登録に向けて」をテーマに行われました。会場人口では手指のアルコール消毒、検温といったコロナ対策が行われました。講座では「世界遺産とは何か」「世界遺産登録される為には」「登録に向けた松本市の取組」等をお話しいただきました。13人の受講者は興味深く話を聞き、質疑では「登録までの位かかるのか?」等といった質問がされました。松本市の宝である松本城。世界遺産登録され、恒久的な保存と次世代へ継承されるよう望まれます。



連続講座第2回目は、松本城と世界遺産をテーマに行われました。13人の受講者は講師に招き、「松本城の歴史と城下町の成立」と題した講演が行われ、宮島義和氏を講師に招き、「松本城の歴史と城下町の成立」と題した講演が行われ、13人の受講者はメモをとりながら聞き入っていました。宮島氏は、松本城が完成するまでの歴史のほか、歴代松本城主、城下町の構造や様子など、スライドを使用しながらわかりやすく説明。その中で、深志城から松本城に改称された経過にはいろいろな説があるとし、さらに研究を深めていきたいと話していました。受講者からは「とても興味深い内容だった。この後の講座も受講したい」といった声がかれました。



連続講座第3回目は、11月20日に松本城管理事務所の南山孝氏を講師に招き、「松本城の特徴」と題して開催されました。戦国時代末期に建てられた松本城は戦いを想定して建てられています。軟弱な土地のため石垣の下に工夫がなされていることや、時代的に外壁に黒漆が使われたことのほか、内堀の幅も火縄銃の威力を考へて掘られています。武備を目的とした防衛的な天守と、天下泰平となった江戸時代に増築された開放的な月見櫓が一緒になっているのは松本城だけであることも知り、これまでとは違った関心を持ってお城を見るようになりました。11月27日に連続講座が開催され、最終回となる第4回目では実際に松本城を見学しました。11人の参加者は感染症対策のために3班に分かれ、松本城管理事務所・研究専門員のガイドのもと、これまでの座学で学んだことを思い返しながら、天守の構造等を確認しました。普段とはまた一味違った松本城の魅力を再発見できました。



天下泰平の世を象徴する武備のない月見櫓



研究専門員から説明を受ける参加者



文書館講座

11月29日、松本市文書館特別専門員の小松芳郎さんを招き、「歴代市長と松本市の発展」と題し、松本市の発展の歴史について講演が行われました。講演では、松本市が現在の形に至るまでの、明治40年からの合併の歴史と、歴代市長の功績とその交代劇について、時折り笑いを織り混ぜながら、お話していただきました。

神田と中山とは元は一つの地区であったことや、奈川は尾張藩の領地であったことなど、普段あまり知ることのない郷土の歴史に触れ、参加された方々も、興味深く聞き入っている様子でした。

新たに 臥雲義尚さんを市長に迎え、これから松本市がどのような発展していくのか楽しみです。



福祉と健康を語る集い

11月12日、松本市医師会長の杉山敦先生をお招きして、リビンググウィルについてご講演いただきました。



リビンググウィルとは、万が一に備えて治療やケアに関する考えや希望を家族などと話し合っておき、書き留めておくものです。(事前指示書)

コロナ感染拡大予防対策で人数制限のある中、50人の参加者は、杉山先生の解りやすい説明に、熱心に耳を傾けていました。今後の生き方について考える良い機会となりました。

島立の高齢者施策について、米田センター長から説明がありました。町会連合会では、買い物にお困りの高齢者を対象とした「買い物タクシー」事業、島立ボランティアでは、ゴミ出しや草取りなどのちよつとしたお手伝いをする「おたすけ隊」の取り組みなど、地域の住民の助け合いが始まっています。

いつまでも島立に住み続けられるよう住民みんなで話し合う機会をもつことは大切なことです。 ※リビンググウィルの用紙は、福祉ひろばに置いてあります。

福祉ひろば クリスマスコンサート開催

12月16日、島立地区福祉ひろばでクリスマスコンサートが開催されました。

30人を超える参加者があり、2人組ミュージシャン「音喜楽(おきらく)ボーイズ」のバイオリンとチェロの演奏を楽しみました。クリスマスソングのメドレー、童謡、歌謡曲そしてクラシックまでジャンルを問わず曲が奏でられ、会場の人たちは、時には口ずさんだりして聴き入りしました。

2人の軽妙な掛け合いも楽しく、アンコール曲も済み、コンサートが終了しても「もうちよつと聴きたい」との声が多く、要望に応じて、2人が再登場して演奏するというハプニングもありました。大変盛り上がった楽しいクリスマスコンサートでした。



クリスマス会

つどいの広場・福祉ひろば公民館共催のクリスマス会が12月18日に島立児童センターで開催されました。

バイオリンの牛山孝介さん、ピアノの野田あゆみさんをお招きし、エルガーの「愛のあいさつ」他、数曲の本格的な楽曲や、「あわてんぼうのサンタクロース」等、クリスマスにちなんだプログラムを披露していただきました。

感染症対策のため、人数制限を設けての開催となりましたが、参加された親子はバイオリンとピアノの音色に聴き入っていました。



会の終わりはサンタさんが現れ、子どもたちにプレゼントを渡すなど、親子で一緒に楽しめるクリスマス会となりました。

森・杜(もりもり)探検隊 ミニミニ三九郎づくり体験



森・杜(もりもり)探検隊は、11月22日にミニ三九郎づくりを行いました。昨年に続き2回目のこの学びは、地域の皆様のご指導で三九郎のいわれや作り方を習い、子どもたちの「自分たちでできる力」を育てる機会になりました。

棒の組み立てや縄の縛り方、米粉で作る素朴なまゆ玉のお団子の味、どれも大切に伝えていきたい地域の行事です。伝統行事には大切な意味があります。厄よけや無病息災を祈ります。今年は特に疫病退散の願いも大きいですね。これからも地域の皆様とともに子どもたちへ大切なことを伝え、活動していきます。



三の宮町会では毎年、三九郎の組み立てからワラ囲いまでの期間に電飾を施しています。今回は12月12日(土)からイルミネーションを実施しました。



超克艱難辛苦

令和参年 辛丑

小柴町会の勝野さんに毎年、干支の水墨画を描いていただいています。苦境を乗り越えるという願いが込められた丑の絵です。